



横たわるクジラやカラスの姿を踊りで表現するフンペリムセ

TOPIC

1

天の恵みに感謝

9
20

第25回 フンペ祭

白糠アイヌ協会（天内重樹会長）は「第25回フンペ（クジラ）祭」をウレシパチセで開催しました。

同祭は昔、飢えに苦しんでいたアイヌ民族が、馬主来の海岸に打ち上げられたクジラを天の恵みと感謝していただき、踊り「フンペリムセ（クジラ踊り）」を捧げた言い伝えに由来しています。

ウレシパチセでカムイノミ（火の神への祈り）が行われた後、白糠アイヌ文化保存会の会員がフンペリムセを奉納しました。

TOPIC

2

社会を明るくするために

9
24

白糠高校で代表標語作品の表彰

社会を明るくする運動白糠推進委員会（会長・棚野孝夫町長）が主催する令和2年度の標語募集で、227点の応募の中から、白糠高校3年の大岡翼さんの作品「傍観者 見ているだけでは 共犯者」が代表標語に選ばれました。

この日、白糠高校で表彰式が行われ、田村信明校長から賞状と記念品が手渡されました。

大岡さんは「自分の作品を通して、少しでも社会が明るくなればうれしいです」と話していました。



賞状を手にする大岡翼さん

TOPIC

3

久しぶりのイベントを楽しむ

9
30

生徒会特別企画「Halloween」

白糠高校で、生徒会企画「Halloween」が開催され、久しぶりの学校イベントを楽しみました。

この企画は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった学校祭に代わるイベントを開催したいという思いを持った生徒たちが、企画・立案したものです。

同イベントでは、学年・組ごとにチーム分けをし、教室に隠されたボールを見つけた数を競いました。

生徒たちは「学校祭が中止になったのは残念だけど、今日はとても楽しかった」と笑顔で話していました。



教室に隠されたボールを探す生徒たち